

平成 29 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

「大塚だからできる！大塚は夢をかなえる！大塚からはばたけ！」～社会的自立、社会貢献のできる生徒を育てます～

生徒の第一希望をかなえる進学にも就職にも強い学校をめざします。「感謝、反省、謙虚、奉仕、素直」の日常五心を身に着ける全人的な人格形成を育てることを基本理念としたうえで普通科、体育科と特徴を出して行く。

- ・普通科…多様な生徒の幅広い教育ニーズに応え、地域に根ざした学校
- ・体育科…競技力の向上と府民のスポーツの振興、発展の拠点校としての学校

2 中期的目標

1 確かな学力の向上

(1) 生徒のニーズに応えた学習指導の充実を図る。

- ア TT、少人数展開、習熟度別、ICT活用などによる生徒が満足できる授業を展開する。
- イ 始業前学習や短期集中講座の実施により、基礎学力の定着をめざした学習を継続的にサポートする。

(2) 授業改善に積極的に取り組み、教員の授業力向上を図る。

- ア 校内研究授業週間をベースに、教員相互の自主的な授業観察、授業評価を行う。
- イ 生徒対象の授業評価、保護者の授業参観時の評価を授業力向上に繋げる。

※ 卒業アンケートで「3年間勉学に一生懸命取り組めた。」と答える生徒（H28：66.8%）を70%、「大塚で3年間学んで学力面で伸びた。」と答える生徒（H28：58.8%）を60%以上とする。

2 志や夢のはぐくみ

(1) 生徒が自分の意志と責任で進路を選択できるようにガイダンス機能（的確な情報提供・進路HR・進路相談）の充実を図る。

※ 進路面で「第1希望をかなえることができた（ある程度できた）。」と答える生徒（H28：82.3%）が90%以上となるよう進路指導の充実を図る。

(2) 大学等の進学情報を収集・提供するとともに、大学見学会やオープンキャンパス等に生徒・保護者が積極的に参加できる機会を設ける。

(3) 3年間見通した継続的、系統的な進路講習を整備し全校的に計画的に実施する。

※ 大学（4年制）進学率（H28：56.0%）を58%、センター試験受験者（H28：54名）60名以上をめざす。

(4) 就職内定率100%（H28：14名）を維持する。

3 豊かな心と社会性の育成

(1) 「あたりまえのこと（挨拶・時間厳守・ルールやマナーの遵守）をあたりまえに！」を合言葉に規律規範の確立に努める。

ア 生徒全員が明るく大きな声であいさつのできる学校を維持・発展させる。

※ 遅刻総数（教務遅刻）（H28：638件）500件以内とする。

イ 教育相談体制を整備・充実し、生徒たちの心のケアに努め、安心安全な学校づくりを推進する。

ウ 生徒状況の把握と保護者との緊密な連携を図るため、保護者との三者面談100%実施をめざす。

エ 保健部、人権委員会、学年が連携したケース会議を効果的に運用する。

オ 学校行事（大塚祭）の充実及び部活動の充実を図る。

※ 普通科生徒の部活動への参加を積極的に推進し、部活動加入率を70%以上とする。

4 体育・スポーツの拠点校としての発展と地域交流の促進（開かれた学校づくり）

(1) 活発な部活動と体育科の専門性を活かし、広く府民の体育・スポーツの振興発展を目標に、地元小学校や中学校を中心としたスポーツ交流やボランティア活動を推進する。また、2020年東京オリンピック出場をめざし、府民に夢と感動を与えられるようなトップアスリートを育成する。

ア 松原市の地元小学校と連携した「ふれあい大塚スポーツ教室」を継続実施する。

イ 地元中学校の運動部との連携と交流を促進する。

(2) 松原市におけるスポーツ関連事業等に積極的に参加し、地域交流・地域貢献を推進する。

(3) 進展する少子化に対応するための魅力ある学校づくりを推進する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 29 年 11 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【学習指導】 今年度は TT、少人数展開、習熟度別、ICT活用などによる生徒が満足できる授業の展開を行い「わかる授業」の構築に取り組んだが80%以上の教員は参加型授業や学習方法について工夫を行ったと答えているが生徒の満足度は約63%に留まった。この差が生じた要因の精査と改善策が課題と考える。</p> <p>【生徒指導等】 「あたりまえのこと（挨拶・時間厳守・ルールやマナーの遵守）をあたりまえに！」を合言葉に規律規範の確立に努め、教育相談体制を整備・充実し、生徒たちの心のケアに努め、安心安全な学校づくりを推進してきた。表面的なあいさつなどはできるが、教職員がそれに満足せず、生徒が抱える背景や内心に迫る心構えが必要である。それは、「担任以外に気楽に相談できる先生がいる」の項目で44%しか肯定的な答えがなされていない。次年度への課題である。</p> <p>また、「何かあれば家庭との連携」を支持してきたが保護者アンケートの中で60%の保護者が肯定的であるがその数値を上昇していかなければならないと考える。</p> <p>【学校経営】 各項目とも（教員向け）昨年度より肯定値は下がっているが平成28年度の数値については88%から100%の肯定値であることを見ると信憑性の再確認が必要であると考え。今年度は73%から88%の肯定値で推移し、組織対応や教育相談体制の充実、などその課題解決の方法などを教職員が再認識し自らに振り返った結果このような数値になったと考える。校長としてきめ細かな問題提起の必要性を感じた1年であった。</p>	<p>第1回(平成29年6月5日) 1 めざす学校像 ・「日常五心」を加筆修正。全人的な人格形成を育てることを明記。 2 中期的目標の追加、変更項目について ・学力向上、授業形態の改善(ICT)、授業相互見学。 ・志や夢を育み ・豊かな心と社会性を育てる ・体育スポーツの拠点校 の説明。</p> <p>第2回(平成29年11月20日) 1 授業アンケートにおける体育科と普通科での相違点や学年別の相違点を精査する必要があるのではないか。 2 学校教育自己診断における項目に「相談できる友人」に関する者を入れてはどうかまた、「育成会」への関心度の向上が必要ではないか。</p> <p>第3回(平成30年2月5日) 1 今年度「学校経営計画」の結果報告 普通科と体育科の意識や授業アンケートなどで数字に表れる相違を説明後、次年度へ向けそれぞれの共通目標と各科独自の目標設定の必要性を進言された。 2 1の進言を元に次年度へ向けた「学校経営計画」の作成と(案)の説明を行い、委員から了承される。 3 各校務分掌長からの総括説明を行う。 それぞれの分掌はよく校務を推進しているので次年度もよろしくとの激励を委員からいただいた。 4 次年度から「学校協議会」から「学校経営協議会」への移行の説明を実施した。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の向上	<p>授業力向上の取組みと生徒の学習意欲を高める取組みの充実</p> <p>ア ICT を活用した授業の推進</p> <p>イ 授業研究の推進</p> <p>ウ 学習意欲の向上</p> <p>エ 体育科教育の充実・発展</p> <p>オ 新教育課程への対応</p> <p>カ 読書活動の促進</p>	<p>ア・ICT を活用した研究授業を実施し、さらに魅力ある授業への取組を推進する。</p> <p>イ・学習指導部の取組みとして、研究授業週間を1・2学期に設定し、全教科で研究授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートの結果を授業力向上委員会において分析することにより各教員の授業改善を進める。 初任1・2年目の教員を対象とした校内研修を充実させる。 <p>ウ・始業前学習の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績不振者を対象にした短期集中講座を実施する。 自習スペース等を有効活用し、自学自習習慣を確立させる。 習熟度別展開授業の拡充により、個々の生徒に適応した学力の向上を図る。 <p>エ・教育課程の改訂に向けたカリキュラムの検討を行う。</p> <p>オ・図書館運営の充実を図り、生徒の読書活動の促進を図る。</p>	<p>ア・授業に ICT を活用する教員の率を50%以上に高める。(H28:42%)</p> <p>イ・授業相互見学を年間2回実施し、実施率を80%以上に高める。(H28:78%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業アンケートの全教員の平均値を3.20(9項目4点満点)に引き上げる。(H28:1回目3.12 2回目:3.15) 初任者等を対象とした校内研修を年間を通じて実施する。(H28:18回) <p>ウ・始業前学習の実施回数を週平均3回とする。(H28:週平均2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期考査前講習(H28:年間5回)、長期休暇中の補習(H28:夏期、冬期)を継続実施する。 自学自習ができるスペース(図書館、各階フリースペース、教室)を拡充する。 学校教育自己診断において「少人数展開や習熟度別授業はわかりやすく取組みやすい。」という生徒の回答を70%以上とする。(H28:普通科55.2%、体育科70.8%) <p>エ・校内での検討会を毎月定例開催する。</p> <p>オ・図書館の利用率の向上</p>	<p>ア 授業観察や授業アンケートの中では約45%に留まっている。(△)</p> <p>イ 2回実施済み 教員の90%が他の教員の授業を見学している。(◎)</p> <p>ただ、授業アンケート授業アンケートの全教員の平均値は3.02で低下した(△) 検証は必要である。</p> <p>初任研校内研修(20回実施) (○)</p> <p>ウ、始業前学習週平均(2.6回) (△)</p> <p>定期考査前講習5回実施(○)</p> <p>長期休暇中補習(夏期10日・冬期4日実施) (○)</p> <p>自学自習ができるスペース(図書館、各階フリースペース、教室)を拡充できなかった。予算の都合(△)</p> <p>習熟度別展開や少人数展開の授業はおおむね肯定的な結果は(普通科35.9%、体育科47.6%)と数字的には低調である。内容の精査が必要である。(△)</p> <p>エ実施できた。特に総合学習においてNIEを活用した調べ学習を導入(○)</p> <p>オ生徒の利用率は55%であった。(○)</p>
2 志や夢のはぐくみ	<p>将来の夢の実現に向けた取組みの充実</p> <p>ア 進学講習の推進</p> <p>イ 進学支援の充実</p> <p>ウ キャリア教育の推進</p>	<p>ア・より充実した進路を獲得するための発展講習を実施する。</p> <p>イ・進路別授業・演習を2年次より実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学見学会を1年生対象に実施する。 勉強合宿(「進路サマーセミナー」)を実施する。 <p>ウ・就職内定率の安定化を図る。</p>	<p>ア・早朝、放課後講習や夏・冬休み集中講習、センター試験前の直前講習を実施する。</p> <p>イ・進路分野別説明会を1、2年次において、大学見学会を1年次において実施する。(H28:8大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 勉強合宿参加者を50名以上とする。 センター入試受験者60名以上、国公立大合格者5名以上、難関私立大合格者30名以上をめざす。(H28:センター53名、国公立4名、私大208名) 卒業生アンケートの「第1希望をかなえることができた(ある程度できた)」と回答した率を85%以上とする。(H28:82.3%) <p>ウ・就職内定率100%を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察、消防、自衛隊等の公務員試験合格者数5名以上とする。(H28:警察2、自衛官3名) 	<p>ア・早朝講習はほぼ毎日国・数・英・理・社で実施、夏季集中講習は勉強合宿という形態をとり桃山学院大学にて実施。冬季は校内にて実施、センター試験直前講習は1月10日から12日まで放課後実施。(○)</p> <p>イ・進路分野別説明会は実施済</p> <p>10月5日実施(12大学) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> センター入試受験者60名国公立大合格者1名、難関私立大合格者15名。(△) 卒業生アンケートの「第1希望をかなえることができた(ある程度できた)」と回答した率を85%以上とする。(H29:83.3%) (△) <p>ウ・就職内定100%達成(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 警察6名、消防1名、自衛官0名等の公務員試験合格者数5名。(△)

<p>3 豊かな心と社会性の育成</p>	<p>規律・規範意識の確立と部活動の活性化 ア 基本的生活習慣の徹底 イ 部活動の推進 ウ 教育相談体制の充実 エ 体罰根絶に向けた取組の充実</p>	<p>ア・早朝立ち番指導（挨拶と自転車指導、遅刻指導）を継続徹底する。</p> <p>イ・普通科生徒の部活動入部を促進するため、新たな取組みを検討・実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同窓会（「踏翔会」）及び運動部 OB・OG 組織（「踏翔体育会」）の連携促進により、一層の運動部活動の活性化を図る。 <p>ウ・教育相談室の有効活用を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の内容充実を図り、生徒・教職員の人権意識の高揚を図る。 <p>エ・教職員に対する体罰根絶に向けた校内研修を充実させ、正しい部活動指導の在り方について意識高揚を図る。</p>	<p>ア・遅刻者数 500 件以下を目標とする。(H28: 638 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断において、「日常のあいさつをきちんとできている。」という回答率を 98%以上とする。(H28: 普通科 87.6%、体育科 98.3%) <p>イ・普通科の部活動入部率を 70%以上とする。(H28: 男子 65.6%、女子 45.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「踏翔体育会」定例総会の参加者数を 150 名以上とする。(H28: 140 名余) <p>ウ・学校教育自己診断において、教育相談に対する肯定的回答を 70%以上とする。(H28: 57.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断において「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」という回答率を 80%以上とする。(H28: 普通科 66.8%、体育科: 84.7%) ・人権学習の生徒アンケートにおいて「関心をもっていますか。」とする肯定回答率を 70%以上とする。(H28: 59, 9%) <p>エ・職員会議等における不祥事根絶に向けた意識啓発を継続する。(H28: 7 回)</p>	<p>ア・遅刻者数 (745 件) (△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断において、「日常のあいさつをきちんとできている。」という回答率を 98%以上とする。(H29: 普通科 76.1%、体育科 96.1%) (△) <p>イ・普通科の部活動入部率を 70%以上とする。(H29: 男子 70.6%、女子 43.4%) (△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「踏翔体育会」定例総会の参加者数を 150 名以上とする。(H29: 165 名) (○) <p>ウ・学校教育自己診断において、教育相談に対する肯定的回答を 70%以上とする。(H29: 62, 3%) (△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断において「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。」という回答率を 80%以上とする。(H29: 普通科 64.4%、体育科: 80.0%) (△) ・人権学習の生徒アンケートにおいて「関心をもっていますか。」とする肯定回答率を 70%以上とする。(H29: 69, 9%) (△) <p>エ・職員会議等における不祥事根絶に向けた意識啓発を継続する。(H29: 7 回) (○)</p>
<p>4 体育・スポーツの拠点校としての発展と地域交流の促進</p>	<p>競技力の向上とスポーツ拠点校としての取組みの強化 ア 競技力向上のためのスポーツ環境の整備 イ 地域スポーツの普及・振興 ウ 地域交流・地域貢献の推進 エ 学校広報の充実</p>	<p>ア・運動部活動の活性化と推進を図るためのソフト・ハード面の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校スポーツ界の夢の舞台である全国高校総体への出場をめざし、さらなる競技力の向上を図る。 <p>イ・地元小学生対象の「ふれあい大塚スポーツ教室」の充実発展及び地元中学校運動部との連携と交流を推進する。</p> <p>ウ・地域交流としてスポーツ関連事業や市民文化活動、地域フェスタに積極的に参加して地域交流、地域貢献を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化部の活性化等、普通科生徒にとって一層魅力ある学校づくりを推進する。 <p>エ・総務部を中心に学校説明会、中学校訪問、学校ホームページの充実などを促進する。</p>	<p>ア・スポーツ講演会、スーパーインストラクター招へい事業の生徒対象のアンケートにおける満足度を 80%以上とする。(H28: 78%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高校総体への出場クラブ数を 5 クラブ以上を目標とする。(H28: 男子バレー、陸上、ソフトテニス) <p>イ・「ふれあい大塚スポーツ教室」の種目増と 150 名以上の参加者を募る。(H28: 4 種目 121 名)</p> <p>ウ・文化部の保育園や老人福祉施設等への交流事業を促進する。(H28: ダンス: 3 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断で、「授業や部活動を通じて、小中学校、地域の方々と交流する機会がある」と回答する率を 60%以上とする。(H28: 普通科 36.2%、体育科 69.3%) ・学校教育自己診断において、普通科生が「学校に行くのが楽しい。」という回答率を 70%以上とする。(H28: 60.1%) <p>エ・学校説明会（年間 4 回実施）の内容を充実させ、参加者 1,000 名以上とする。(H28: 計 962 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問を全教員が分担して実施し、訪問エリアの拡充を図る。(H28: 107 校) ・学校ホームページのリニューアル充実とリアルタイムでの更新に努め、アクセス数の 1 割増を図る。(H28: 5, 500 回/月) 	<p>ア・スポーツ講演会、スーパーインストラクター招へい事業の生徒対象のアンケートにおける満足度を 80%以上とする。(H29: 82%) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高校総体への出場クラブ数を 5 クラブ以上を目標とする。(H29: 男子バレー、陸上、) (△) <p>イ・「ふれあい大塚スポーツ教室」の種目増と 150 名以上の参加者を募る。(H29: 4 種目 172 名) (○)</p> <p>ウ・文化部の保育園や老人福祉施設等への交流事業を促進する。(H29: ダンス: 3 回) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断で、「授業や部活動を通じて、小中学校、地域の方々と交流する機会がある」と回答する率を 60%以上とする。(H29: 普通科 32.0%、体育科 61.4%) (△) ・学校教育自己診断において、普通科生が「学校に行くのが楽しい。」という回答率を 70%以上とする。(H29: 70.1%) (○) <p>エ・学校説明会（年間 4 回実施）の内容を充実させ、参加者 1,000 名以上とする。(H29: 計 1072 名) (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問を全教員が分担して実施し、訪問エリアの拡充を図る。(H29: 97 校) (△) ・学校ホームページのリニューアル充実とリアルタイムでの更新に努め、アクセス数の 1 割増を図る。(H29: 5, 700 回/月) (○)